

12月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

|                 | 為替市況   | 主要経済指標など   | 主要発言など  | 為替レート                                |                                      |                      |
|-----------------|--|--|---|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------|
|                 |  |  |   | ドル円                                  | ユーロ円                                 | 24H                  |
| 04/12/01<br>(水) | 東京は小幅ドル安。日経平均安が円買いの足枷になったものの、急騰したボンド高に結局円は連れ高。欧米でボンド高続く。それに連れてユーロなど欧州通貨、また円も対ドルで小じっかり。       | ・10月の米個人所得0.6%、同個人消費0.7%、11月ISM製造業景況指数57.8<br>・米地区連銀報告「米国の労働市場は引き続き改善」                       | ・渡辺財務官「日欧は協調行動を取れる状況にある」<br>・匿名ECB関係者「ECBが1-2高に歯止めを掛けるため行動を起こす可能性は低い」                     | 103.05<br>102.49<br>103.09<br>102.56 | 136.85<br>136.58<br>137.09<br>136.87 | 寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 04/12/02<br>(木) | 東京は再びドル安。FT紙報道も影響限定的で、対円では一時101円台を示現する局面も見られた。欧米は一転してドル急反発。要人発言に加え週末米雇用統計が改善されるとの噂から調整進む。    | ・英FT紙「日欧が協調介入検討」<br>・ECBが政策金利の据え置き決定   | ・谷垣財務相「欧米とは緊密に連絡を取り合っている」<br>・溝口前財務官「ここ1ヶ月のドル安はやや急で急ぎ過ぎ」<br>・トシエECB総裁「スノ-財務長官のドル高コメントは重要」 | 102.56<br>101.82<br>103.40<br>103.21 | 136.87<br>136.20<br>137.00<br>136.94 | 寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 04/12/03<br>(金) | 東京は夜半の米雇用統計発表を睨みつつ円が小幅安。ただドル/円の頭は重く、103円後半までか精々。欧米は再びドル独歩安。強き見通し優勢ななか発表された米雇用統計は期待はずれの内容だった。 | ・11月の米失業率5.4%、同非農業者雇用数11.2万人増、同ISM非製造業景況指数61.3<br>・一部独紙「米国はユーロが1.45を超えるまで介入しない」              | ・外務省報道官「独首相が8日から来日、小泉首相と会談へ」<br>・谷垣財務相「最近の為替は相当急な動き」<br>・サントメOFF連銀総裁「ドル安は最終的に輸出を刺激する」     | 103.21<br>102.03<br>103.59<br>102.06 | 136.94<br>136.66<br>137.54<br>137.34 | 寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 04/12/06<br>(月) | 東京はドルがじり高。英紙報道で早朝こそドル売り先行したが、浅川発言もあり再びドル高へ。欧米は結果円が独歩安。米系証券などの積極的な手口もありユーロ/円は138円台へ上伸。        | ・週末の英オブザーバー紙「日本が外貨準備高のドル資産売却を検討して」<br>・NYタイムズ「スノ-財務長官辞任へ、後任はカード首席補佐官の公算」                     | ・浅川為替課長「米債売却予定はない」<br>・細田官房長官「介入するかはもう少し極めたい」<br>・イッシグECB専務理事「容赦ない為替の動き、歓迎できない」           | 102.14<br>101.89<br>103.38<br>103.15 | 137.32<br>137.06<br>138.70<br>138.31 | 寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 04/12/07<br>(火) | 東京は円買戻しの動き優勢。材料はとくになかったがクロス中心に値ごころの買い進む。欧米はユーロを中心に荒れ模様。WSJ紙報道が驚きを誘ったものの観測記事とのことでドル売り続かず。     | ・11月末外貨準備高8401億ドル、10月の景気先行指数20.0<br>・12月独ZEW景況感調査14.4<br>・カナダが政策金利の据え置き発表、その後声明で利上げ方針を取り下げる  | ・谷垣財務相「現在の動きはファンダメンタルズ反映せず」<br>・WSJ紙「米国債のトリプルA格付けに疑問符」                                    | 103.15<br>102.38<br>103.35<br>102.96 | 138.31<br>137.52<br>138.41<br>138.15 | 寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 04/12/08<br>(水) | 東京でドルは対ユーロなど欧州通貨中心に対円でも堅調裡。GDP上方修正も円買いに結び付かず。欧米はドル高と言うより円が独歩安。またゴールドや原油相場が急落し、ドルへの資金過剰も。     | ・第2四半期GDP改定値0.1%<br>・豪州が金利据え置き発表   | ・マクレンHH報道官「スノ-財務長官が留任要請を受諾した」   | 102.96<br>102.75<br>104.95<br>103.96 | 138.15<br>137.78<br>139.00<br>138.66 | 寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 04/12/09<br>(木) | 東京は行って来い。前日の反動から当初はドル売り・円買い目立つも機械受注の大幅悪化で反転。欧米は再び円安。日本の景気悪化懸念を背景に投機筋の円売りが優勢に、ドルは一時105円台へ。    | ・10月の経常黒字1兆3367億円、同貿易黒字1兆3928億円、同機械受注3.1%<br>・東京で日独首脳会談実施                                    | ・小泉首相「急激な円高進行は歓迎しない」<br>・シュレーダー-独首相「為替については小泉首相の言うとおり」                                    | 103.96<br>103.83<br>105.02<br>104.64 | 138.66<br>138.46<br>139.39<br>139.30 | 寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 04/12/10<br>(金) | 東京はドル高・円安が止まらず。中川発言など円高を容認するかのような発言にも影響は限定的。欧米は結局行って来い。翌週発表の日銀短観悪化思惑から円売り先行で始まるも終盤は利食い優勢。    | ・経産省が「緊急円高調査」発表(調査期間は11/26から12/7まで)<br>・11月の米卸売物価指数0.5%、12月のミシガン消費者信頼感指数95.7、11月の米財政収支579億ドル | ・谷垣財務相「円高は一服した感がある」<br>・中川経産相「100～105円は想定レートより円高だが現時点で深刻な影響はない」                           | 104.64<br>104.58<br>106.19<br>105.15 | 139.30<br>139.03<br>139.98<br>139.07 | 寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 04/12/13<br>(月) | 東京はNY終盤の流れを継ぎやや円高。材料と言うより「調整の調整」と言った様相だった。欧米は翌日にFOMCなど控えて模様眺め気分強いなかドルが対欧州通貨で小安い。             | ・英中銀半期報告書「ドルのさらなる下落と米債離れの可能性は金融の安定にとって潜在的リスクのひとつ」<br>・11月の米小売売り上げ高0.1%                       | ・福井日銀総裁「金融緩和政策の枠組み変更はかなり先のこと」<br>・メルシエECB政策委員会メンバー「中銀による介入はひとつの手段、口先介入は極めて重要だ」            | 105.39<br>104.51<br>105.59<br>104.79 | 139.07<br>138.87<br>139.62<br>139.51 | 寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 04/12/14<br>(火) | 夜半にFOMCと米貿易収支発表という材料を控えているため東京はほとんど動意なし。欧米は再び円が独歩安。とくにクロスで大きく売られた。FOMCや米貿易収支などは材料視されず。       | ・10月の米貿易収支555億ドル、同対中赤字は168億ドルでともに過去最大、一方で対日赤字は59億ドルと前月比縮小<br>・11月の米鉱工業生産0.3%、同設備稼働率77.6%     | ・FOMCで米国は25BPの利上げ実施、その後の声明は「金融政策スタンスは緩和的に留まる」と内容据え置かれる                                    | 104.78<br>104.59<br>105.78<br>105.52 | 139.50<br>139.26<br>140.50<br>140.30 | 寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 04/12/15<br>(水) | 東京は悪化が予想された日銀短観良好で円買いの優勢。北朝鮮ファクターはあまり材料視されなかった。欧米はドル急落。対米証券投資が低水準に留まったことが嫌気された。スノ-発言には反応なし。  | ・12月の日銀短観大企業製造業DIは22<br>・12月のNY州製造業業況指数29.93、10月の対米証券投資買い越し額481億ドル                           | ・北朝鮮「日本が経済制裁発動なら宣戦布告とみなす」<br>・スノ-財務長官「大統領は市場で決まる強いドルを支持」                                  | 105.53<br>103.96<br>105.73<br>104.24 | 140.31<br>139.28<br>140.37<br>139.62 | 寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |

\* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで